

平和記念だより

◆編集・発行：高松市 人権啓発課 高松市平和記念館
◆連絡先：高松市松島町一丁目15番1号
たかまつミライエ5階
TEL:087-833-2211 FAX:087-833-2244



平成29年度 教職員のための平和教育講演会

平成29年12月26日(火)、たかまつミライエ1階多目的室において、「教職員のための平和教育講演会」を開催しました。

三谷地区遺族会の太田和代さんと林恵子さんを講師にお迎えし、戦争遺族の想いを紙芝居や映像を使用しながら、語っていただきました。参加者からは、次のような声をいただきました。

子どもたちに平和の大切さを伝えていくには、まず身近な土地の出来事から知っていくことが大事だと思った。(20代 女性)



紙芝居をもとに戦争のことを説明してくれたので、当時の様子がよくわかった。地域学習をもとに、戦争のことを理解していくのにとてもいいと思った。(50代 男性)

開戦間もなく船と共に沈められた身内がいた。その詳細について、いとこと協力して整理して伝えていきたいと思った。戦争の気配を感じる世相の中で、できる限り、「戦争はいかん」と伝えていきたい。(60代 男性)

講演会を聞いて、やはり生の声は素晴らしいと思った。勤務先の学校では、今年度から広島への平和学習を行ったが、やはり地元高松で何が起こったのかをしっかりと伝承していくことが必要だと感じた。(40代 男性)



**アンケートにご協力いただき、
ありがとうございました。**

お二人のお話を聞いて、遺族の想いや平和への願いがひしひしと伝わり、平和教育の大切さ・必要さを心に刻んだ。(40代 男性)

高松市平和を願う市民団体協議会について

『高松市平和を願う市民団体協議会』（以下『願う会』）とは、平和を願う市民の世論を高めるための諸活動を実施するとともに、高松市の平和意識の啓発事業を豊かに発展させるため、平成7年7月4日から活動を開始している組織です。

現在は31団体が所属し、高松市のイベントなどにご協力いただいています。

「語り部」の会の活動記録

『願う会』の中の一団体に『高松市戦争体験を語り継ぐ語り部の会』があります。高松市内や香川県内の様々なところから依頼を受け、語り部活動を行っています。平成29年度には、次のような活動がありました。

(敬称略・50音順)

氏名	講演などの活動内容
岡田 昌子	6/28 RNC ラジオにて、高松空襲体験談 7/4 第28回高松空襲の跡を歩く会での挨拶 2/28 飯山中学校2年生を対象に、戦争の中での少女時代
喜田 清	6/2 協和中学校1年生を対象に、高松空襲体験談 6/16、9/29 高松平和病院の新規採用職員を対象に、高松空襲体験談 6/20、7/4 RNCラジオにて、高松空襲体験談 6/25 牟礼中学校1年生を対象に、高松空襲体験談 6/27 鶴尾中学校1年生を対象に、高松空襲体験談 7/1 「1000日の巡礼」を出版 7/26 高松市主催 空襲展にて、解説 8/15 OHK テレビにて、喜田の平和所感 8/17 NHK テレビにて、喜田の平和所感 8/30 田村町キリスト教会にて、高松空襲体験談 10/30、11/1 六角堂で亀阜小2・3年生を対象に、空襲体験談 11/8 龍雲中学校1年生を対象に、高松空襲体験談 11/10 高松第一小学校4年生～中学3年生の保護者を対象に、空襲体験談 11/28 昭和館(東京都)から、高松空襲の取材を受ける。 1/21 円座町キリスト教会にて、高松空襲体験談 2/5 屋島西小学校6年生を対象に、高松空襲体験談
小西 弘和	8/4 たかまつミライエにて、日中戦争から太平洋戦争までの暮らしや空襲・引揚体験談 2/2 木太南小学校5年生を対象に、同上
浄土 卓也	6/9 多肥小学校6年生を対象に、高松空襲について 6/22 百華幼稚園年長組を対象に、青い目の人形の運命について 6/23 香川第一中学1年生を対象に、高松空襲について 6/26 浅野コミュニティセンターにて、高松空襲について 6/28 塩江中学校1年生を対象に、高松空襲について 7/4 大野小学校6年生を対象に、高松空襲について 7/10 高松桜井高校3年生ークラスを対象に、アジア・太平洋戦争の実相 7/11 亀阜小学校6年生を対象に、高松空襲について 7/12 栗林幼稚園年長組を対象に、青い目の人形の運命 7/27 木太町ふれあいセンターにて住民(約20名)を対象に、アジア・太平洋戦争の実相 8/8 水田八反地自治会会員を対象に、高松空襲について 8/31 浅野小学校6年生を対象に、高松空襲について 9/4 高松第一高校2年生ークラスを対象に、アジア・太平洋戦争の実相 11/13 仏生山小学校6年生を対象に、高松空襲について 11/15 一宮小学校6年生を対象に、高松空襲について 12/1 川添小学校6年生を対象に、高松空襲について 12/4 川東小学校6年生を対象に、青い目の人形の運命 12/9 称讃寺で周辺住民等を対象に、アジア・太平洋戦争の実相 1/26 桜町中学校の保護者(約80名)を対象に、高松空襲の話 3/15 紫雲中学校の保護者を対象に、高松空襲の話
戸祭 恭子	6/16 香川県民医連の入職2年目職員を対象に、高松空襲跡地を巡りながら平和と命の大切さを伝える。 8/3 「夏休み子どもクラブ」にて、小学校1～5年生を対象に、同上 9/29 香川県民医連の入職2年目職員を対象に、高松空襲体験談

平成30年度 行事予定



平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭

平成30年5月26日(土)

場 所 たかまつミライエ 1階多目的室

内 容 戦争・空襲体験談の講演

映画上映 「この世界の片隅に」(下記参照)



高松空襲写真展

平成30年6月29日(金)～7月9日(月)

場 所 高松市平和記念館 映像学習室

展示内容 高松空襲直後の被災写真・パネル・絵画



高松市戦争遺品展

平成30年7月19日(木)～7月25日(水)

場 所 瓦町FLAG2階コンコース

展示内容 高松空襲と戦争に関する写真・パネル・資料の展示



戦争・原爆被災展(長崎市と共催)

平成30年8月2日(木)～8月8日(水)

場 所 IKÔDE 瓦町 展示コーナー(瓦町FLAG8階)

展示内容 原爆被災写真パネル・ポスターなど



教職員のための平和教育講演会

平成30年12月26日(水)

場 所 たかまつミライエ 1階多目的室

内 容 講演:空襲体験談(予定) 講師:未定

講演:未定



高松市戦争遺品等収蔵品巡回展

平成31年2月20日(水)～27日(水)

場 所 塩江コミュニティセンター

内 容 市民から寄贈された戦争遺品を中心に展示



この世界の片隅に

第40回日本アカデミー賞
最優秀アニメーション作品賞ほか数多く受賞

● ものがたり

18歳のすすさんに、突然縁談がもちあがる。1944年(昭和19)年2月、すすさんは呉へとお嫁にやって来る。日本海軍の一大拠点で、軍港の街として栄えているここで、配給物資がだんだん減っていく中でも、すすさんは工夫を凝らして食卓をにぎわせ、衣服を作り直し、時には好きな絵を描き、毎日のくらしを積み重ねていく。1945年(昭和20)年3月、呉は、空を埋め尽くすほどの数の艦載機による空襲にさらされ、すすさんが大切にしていたものが失われていく。それでも毎日は続く。そして、昭和20年の夏がやってくる――。



平成30年度 平和を語るつどい (と並) 平成30年
憲法記念 平和映画祭 5月26日(土)
午後1時～4時(開場12:30)
ところ たかまつミライエ
1階多目的室(高松市平和記念館)

この世界の片隅に
高松市平和記念館 Tel. (087)833-2211

收藏品紹介57 《最近の收藏品より》

焼夷弾（しょういだん）の弾頭部（だんとうぶ）のおもり

この弾頭部のおもりは、E46 集束焼夷弾のノーズブロックと言われ、1945年7月4日の高松空襲の際に落とされたものです。重さは約35kgあり、M69焼夷弾（子弹）38発（19発×2段）を束にしたE46集束焼夷弾の弾頭部にありました。

今回、発見されたノーズブロックは、平成29年12月15日、高松市丸の内の瀬戸大橋通りに面した埋蔵文化財調査現場（大川バス高松営業所西側）の地下1m付近から出てきたものです。戦後72年経った今日でも、高松空襲の痕跡を残す遺物が出てくることに、驚きと同時に平和の尊さを改めて認識させられます。

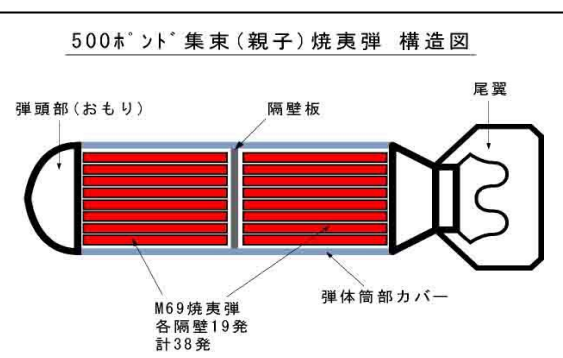


戦時用語解説56 焼夷弾

米軍が日本の空襲に多用した焼夷弾は、M69と呼ばれ、中身はナパームである。ナパームは、ゼリー状の油脂ガソリンのことでナフサネート（石油精製の際の副産物）とパーム油（椰子油などの油脂に水素添加したもの）を混合したもので、「M69」はさらに亜鉛、鉛、リン、ガソリンなどを混入し

て着火力と燃焼力を向上させたものである。M69焼夷弾の形状は、直径8cm・全長50cm・重さ2.7kgの六角柱であり、実際の空襲では左図のように19発×2段、計38発を束にして、「E46集束焼夷弾」として投下した。

「E46集束焼夷弾」は、投下されると集束していた帯が解かれて、M69がバラバラに空中に放り出され、



その際、布製の約1mのリボン（ストリーマー）が出て、信管部分を下にするとともに、落下時の揺れを防いでいた。このリボンにも火がついたため、地上からは火の雨が降ってくるように見えた。木造の日本家屋を効率よく焼き払うために、大戦中に米軍が開発し、使用した恐ろしい爆弾である。

※参考文献：平塚柁緒 編著「日本空襲の全貌」2015年

編集メモ

高松市平和記念館は、高松空襲だけの展示内容ではありません。戦争に至る経緯から、これからの平和な未来へとつなげるための資料まで、写真・本・(DVD・VHS等の)映像、貴重な寄贈品も数多く展示している施設です。平和記念だよりをきっかけに、ぜひご来館ください。

高松市平和記念館 開館時間：9時～17時 休館日：毎週火曜日 入館料：無料

▼ホームページアドレス（平和啓発の推進事業がご覧いただけます）

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/jinken/keihatsu/heiwa/index.html>